

一度は来てほしい!

一等寺新聞

発行日・発行者
令和6年 7月16日
倉敷市立郷内小学校
6年 1組
名前 濱野 采音

一等寺の『十三佛霊場』に潜むあの世への入口は……

一等寺には、絶対見てほしい魅力が二つあります。

一つ目は、『十三佛霊場

(じゅうさんぶつれいじょ

う)』です。十三佛霊場(じゅ

うさんぶつれいじょ)には、十三体の仏様の仏像があります。ですが、その中には、『仏様』ではない、『神様

も混ざっているのです。その神様というのが、一等寺が祀っている『阿弥陀如来(あみだ

によらい)様』です。阿弥陀如来様は、大乘仏教(だいじょ

うぶつきょう)における信仰対象(しんこうたいしやう)である如来(によらい)の一尊(いっそん)だそうです。一

等時に来た暁(あかつき)には、十三佛霊場に登ることをおすすめします。

一等寺の魅力その二つ目

は、『襖絵(ふすまゑ)』で

す。一等寺の建物の中は、襖絵で溢れています。一等寺の襖絵は、ほぼ全ておかつねひこさんという人が描いたものです。

一等寺はなんと約二二〇〇年以上前からある!?

一等寺は、「天平時代」という時代の「天平九年(七三七

年)一二八七年前」からあるとされていますが、その時は

「一等寺」という名前ではなく、『有南院(ゆうなんい

ん)』という名前でした。なぜ、「一等寺」になったと言

うと、明治維新(めいじいしん)の初期ごろに、寺院や仏像などを破壊(ほうかい)・焼却(しょうきやく)するとい

う蛮行(ばんこう)が日本中で行われました。その時代、『有南院』は、『熊野神社(くまのじんじや)』と繋が

りがあったのですが、「熊野神社」が放火されてしまい、「熊

野神社」と繋がりとばれてしまうと「有南院」も放

火されてしまったと思っただけで、熊野神社との繋がりを

切り、「一等寺」という名前にし、逃れたとされています。

一等寺の住職さんはなんと保育園の園長先生!?

一等寺は、昔親が面倒を見きれない子どもたち

を寺で預かったりしていました。その活動が今に

いたり、一等寺の横には、『若杉保育園』という

保育園が建っています。寺が隣にあるだけあつて、若杉保育園では、『花祭り』の日に、自分で

作った冠をかぶって、お釈迦様の人形に園児の子

が『甘茶』をかけて、お誕生日をお祝い

します。(写真一)この

『花祭り』は、日本に仏教

が伝わったときからあるそ

うで、今でも続いています。

(写真一)



一等寺の、『十三佛霊場』には、

大体たくさん神様や仏様の像が置

かれています。一等寺の十三佛霊

場は、一味違って、『不動明王様』

の仏像を過ぎたあたりに、『三途の

川』があるのです。(写真二)『三

途の川』と聞いて、皆さんは、ど

うなものかを思い浮かべますか? た

くさんの人が「死後の世界につな

る川」と答えるかもしれませんが、

一等寺にある『三途の川』は、悪い

心無くして、十三佛霊場を

登ってほしいという

願いを込めて前の

住職さんが立てた

そうです。

(写真二)



社説

私は、今回一等寺を調べて、新聞にして

思ったことは、一等寺を調べたときは、

「すごいな!」「こういう神様を祀って

いるんだ!」と、好奇心が湧いて、とても

ワクワクしていました。こうして新聞

にして振り返ってみると、「この一等寺の

魅力を他の人にも知ってもらいたい。興

味を持ってもらいたい。」と、違う感情が

湧き出てきました。私が調べたことは、

他にももっとありますが、それは皆さん

に探してもらいたいです。ですので、ぜひ

一等寺に行ってみてはどうでしょうか?